

スマートヘルスケアコミュニティ

ver.1.0

本資料には確定されていない情報も含まれています。

株式会社ドリームIT研究所
2018年

健康を支えるスマートコミュニティ

生涯、心も身体も健康に

様々な健康障害要因を取り除き、健康を実現。

健康指標

高

あるべき姿

豊富な患者情報から予防処置をとる。
革新技術・サービス導入。



医療機関



現在の自分を知り、ビッグデータ解析から病の前兆を発見し、事前に取り去る。



本人

出生前



地域内の誰が、どんな状況か分からない。



医療機関

現状

病

病

自分のことも、周りのこともわからない。



本人

死亡後



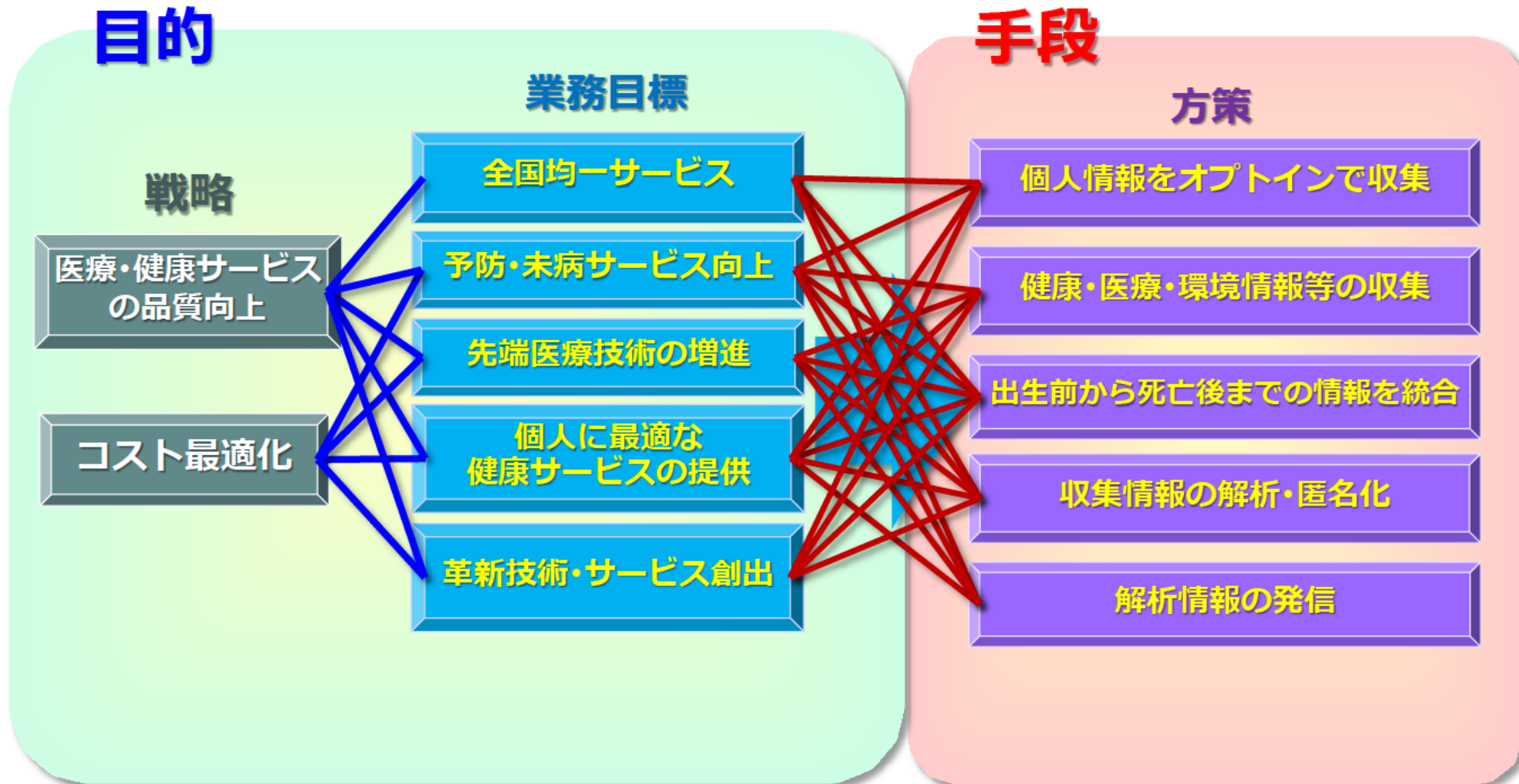
低

年齢

目的と手段

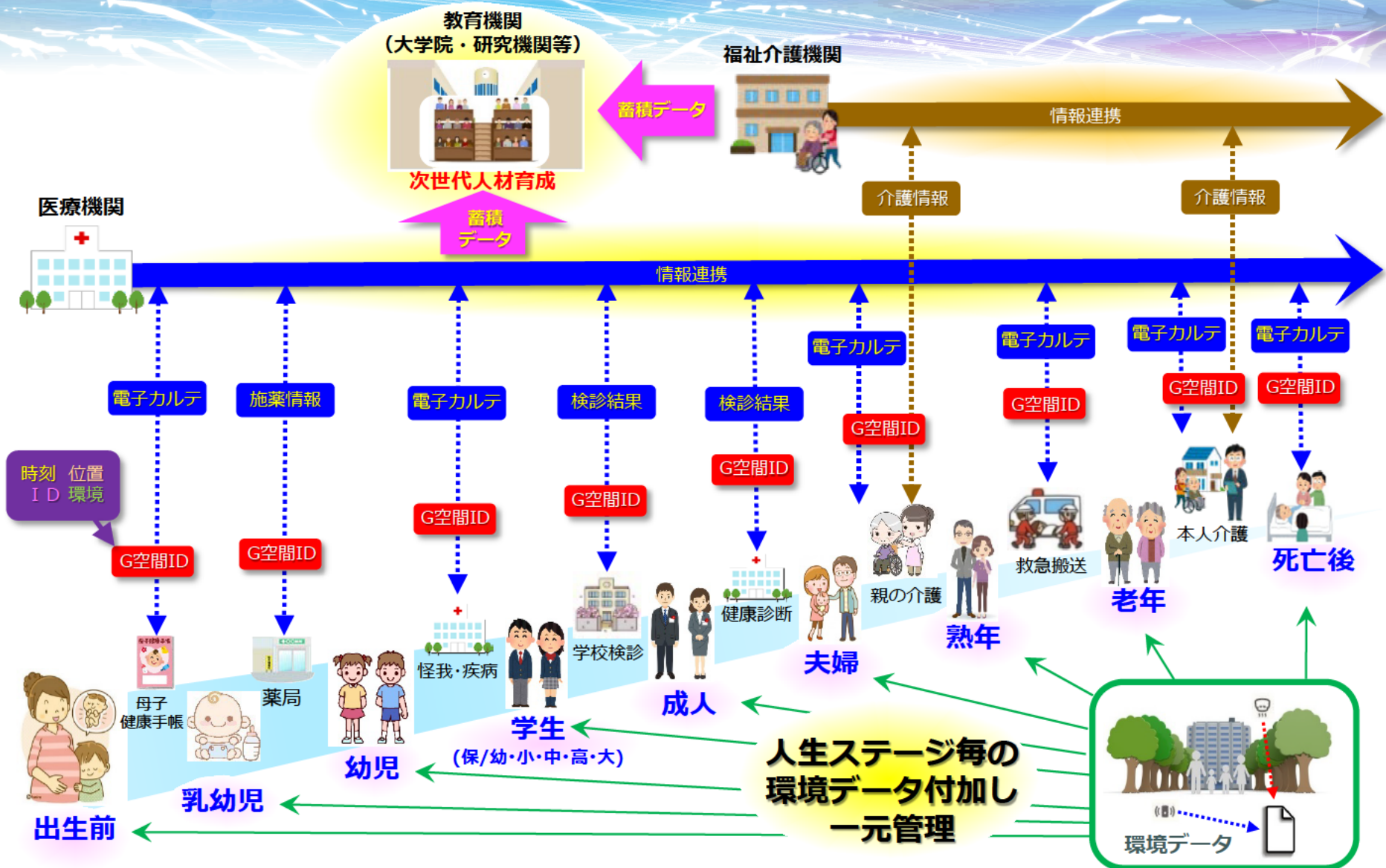
健康・医療の品質向上と医療コストの最適化

目的と手段の関連図



革新的特許技術で実現

生まれる前から看取りまで一元管理



従来分析との違い

従来の分析

複数領域の横断データを関連させて分析できない



G-空間ID

G-空間ID

G-空間ID

G-空間ID

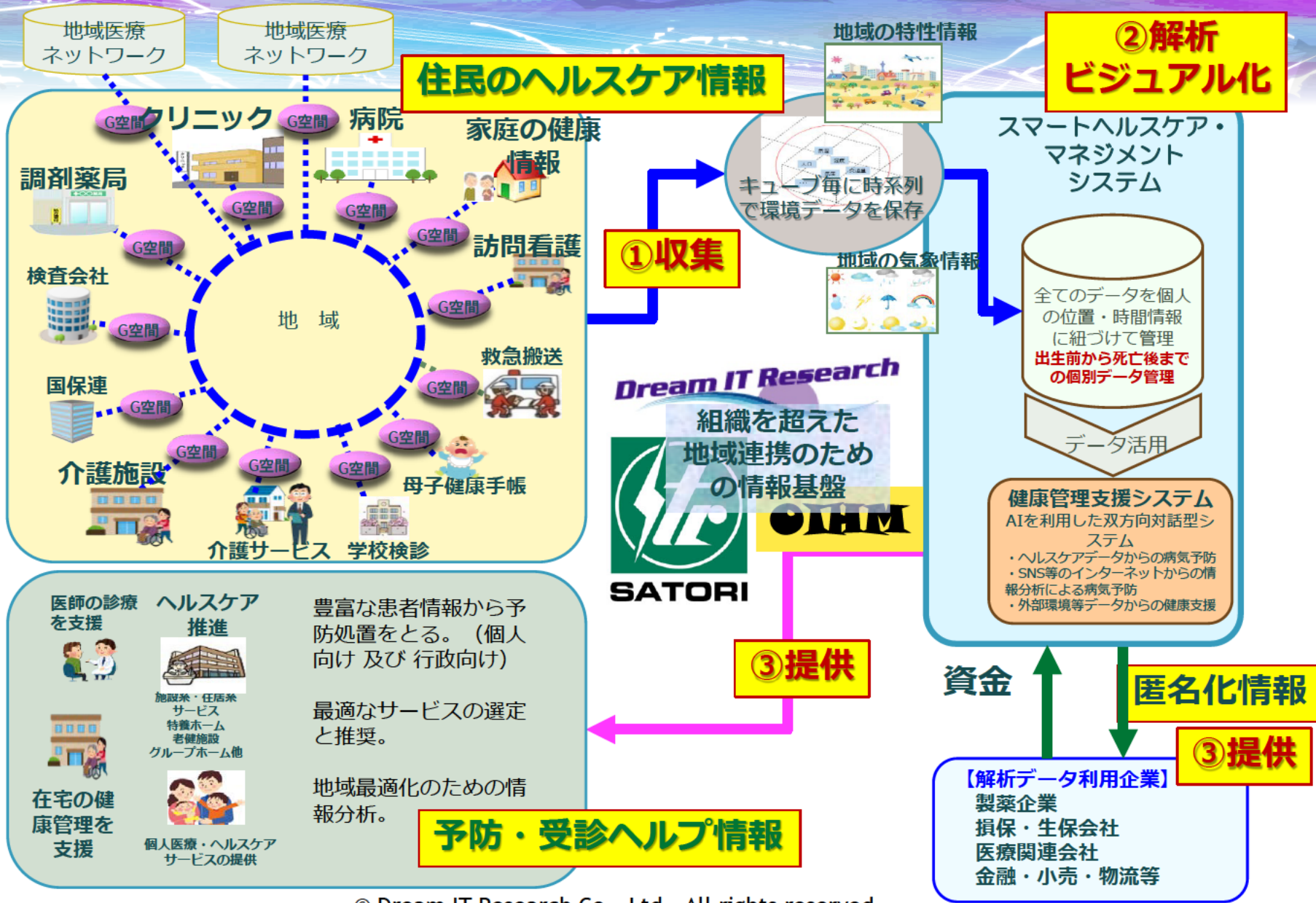
本案の狙い



各分野の枠を超えた
統合分析が可能

- 例1) 異なる医療機関の情報連携 → 地域医療の質・安全の向上
- 例2) 医療と生活情報の連携 → 生活習慣病の予防指導(医療的介入)
- 例3) 医療と介護情報の連携 → 一貫した退院後の患者見守り(在宅連携)

地域の包括ヘルスケア システム イメージ図



地域連携された世界

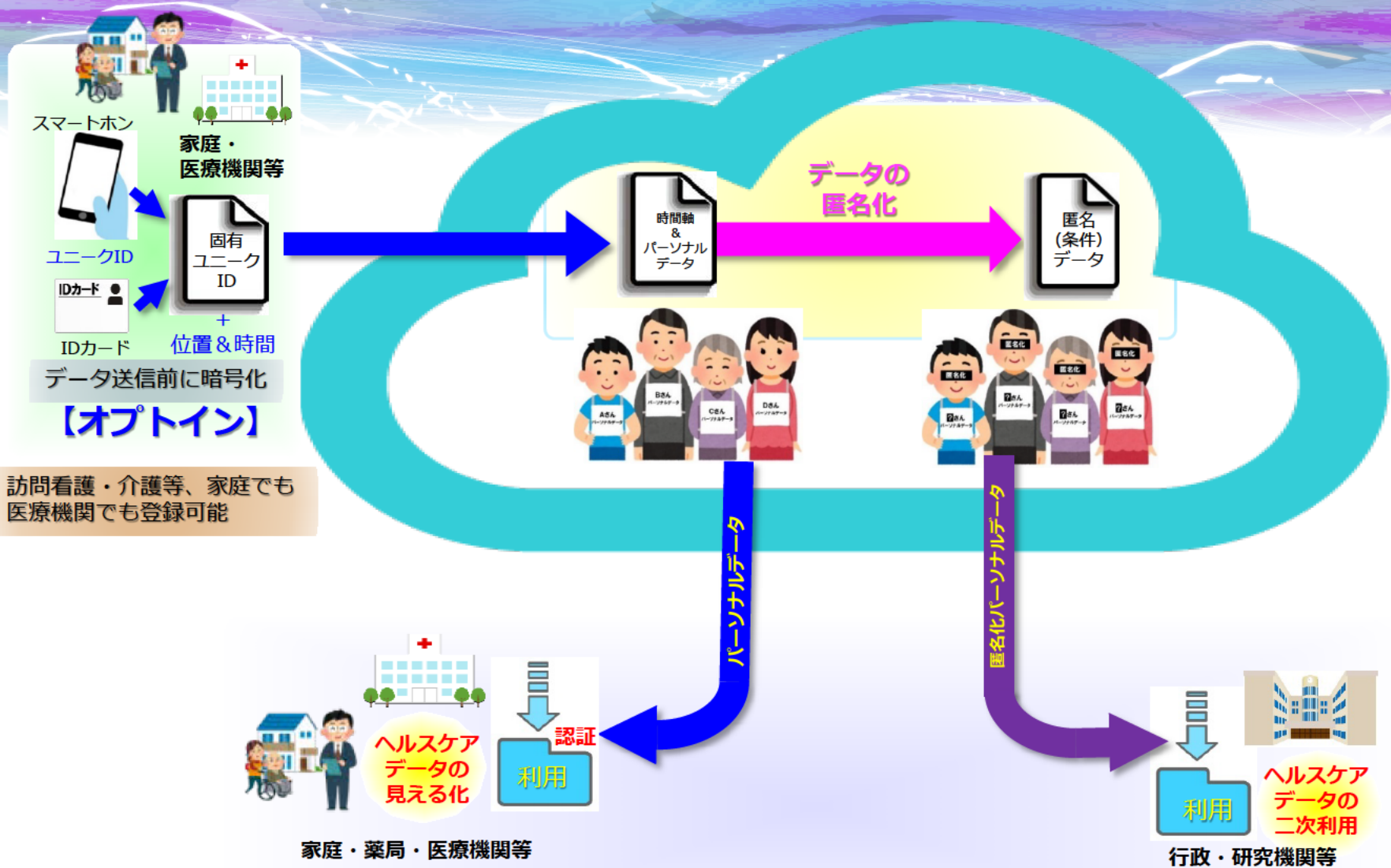
G空間IDによる更なる地域貢献。
訪問看護ステーションを中心に利用を広げる。



**医療・介護のみならず
全てを繋げた町を作ることが必要**



G空間ID連携図



訪問看護・介護等、家庭でも医療機関でも登録可能

データを閲覧できる場所と時間を指定可能：
例えば、病院でしか閲覧できないデータや自宅と薬局でしか閲覧できないデータを分けることができる。

スマートヘルスケア・マネジメントシステム導入により構築

在宅にて様々なタイミングで情報を収集。
ヘルスケア情報を出生前から死亡後まで取得するために。



スマートヘルスケア・マネジメントシステム G空間IDによるヘルスケア情報統合

G空間IDをキーに収集した情報を連動させる。

